

賛否の公表

※採決で賛否が分かれた案件の採決結果です。これ以外の議案等は全会一致で可決等しました。
なお、紙面の都合で賛成・反対討論は割愛します。

● 採決結果一覧表 ●

賛成＝○、反対＝×、棄＝棄権（採決の際、表決権を行使しないで退席）

議席	氏 名	会 派	発議案 第34号	発議案 第35号	議案 第3号	議案 第4号	議案 第21号	議案 第25号	議案 第31号	議案 番号	案 件 名
1	鈴木 雅彦	奥和会	○	○	○	○	○	○	○	発議案 第34号	子どもの医療費助成に 係る国民健康保険の国 庫負担減額調整措置の 廃止を求める意見書
6	及川 佐		○	○	○	○	○	○	○		
8	菅原 由和		○	○	○	○	○	○	○		
12	千葉 正文		○	○	○	○	○	○	○	発議案 第35号	東日本大震災の被災者 の国民健康保険、後期 高齢者医療保険の一部 負担金及び介護保険の 利用料等の支援制度の 継続を求める意見書
15	中西 秀俊		○	○	○	○	○	○	○		
16	小野寺隆夫		○	○	○	○	○	○	○		
18	中澤 俊明		○	○	○	○	○	○	○		
20	藤田 慶則		○	○	○	○	○	○	○		
23	渡辺 忠		○	○	○	○	○	○	○	議案 第3号	奥州市立幼保連携型認 定こども園条例の制定 について
3	廣野 富男	○	○	○	○	×	○	○			
10	高橋 政一	○	○	○	○	×	○	○			
11	佐藤 郁夫	市民クラブ	○	○	○	○	×	○	○	議案 第4号	奥州市職員の特殊勤務 手当に関する条例の一 部改正について
19	千葉 悟郎		○	○	○	○	×	○	○		
24	佐藤 邦夫		○	○	○	○	棄	○	○	議案 第21号	平成27年度奥州市一 般会計歳入歳出決算認 定について
2	千葉 敦	日本共産党	○	○	×	×	×	×	×		
17	菅原 明		○	○	×	×	×	×	×		
22	今野 裕文		○	○	×	×	×	×	×		
27	及川 善男		○	○	×	×	×	×	×		
4	佐藤 洋	新世会	×	×	○	○	○	○	○	議案 第25号	平成27年度奥州市簡 易水道事業特別会計歳 入歳出決算認定につい て
5	菊池 利美		○	○	○	○	○	○	○		
7	菅原 圭子		○	○	○	○	×	○	○		
13	加藤 清		○	○	○	○	○	○	○	議案 第31号	平成27年度奥州市水 道事業会計利益の処分 及び決算の認定につい て
9	飯坂 一也	公明党	×	×	○	○	○	○	○		
14	阿部加代子		×	×	○	○	○	○	○		
25	内田 和良	無会派	○	○	○	○	○	○	○		
28	小野寺 重		○	○	○	○	×	○	○		
賛成：反対			23:3	23:3	22:4	22:4	15:10	22:4	22:4	※議長は採決には加わりません	

議員発議

議員発議 議員発議により2件の意見書を可決し関係機関へ送付しました。
そのうち1件の意見書を掲載します。

- * 子どもの医療費助成に係る国民健康保険の国庫負担減額調整措置の廃止を求める意見書
- * 東日本大震災の被災者の国民健康保険、後期高齢者医療保険の一部負担金及び介護保険の利用料等の支援制度の継続を求める意見書

子どもの医療費助成に係る国民健康保険の国庫負担減額調整措置の廃止を求める意見書

少子化対策として子育て世代の負担軽減を図り、子どもの疾病の早期診断、治療を目的に、岩手県、そして県内33市町村は医療費助成を行っている。

一方、国はこのような地方自治体の医療費助成の取組みに対して、医療費の波及増分は実施自治体が負担すべきものとして、本来国が負担すべき国民健康保険国庫負担分等の減額措置を講じている。

今、国は少子化に伴う人口減少問題に全力で取り組むとしている。しかし、こうした減額措置を行うことは、地方自治体による少子化対策に逆行するものである。

全国でも少子高齢化が急速に進む岩手県では、地域が継続できるか危ぶまれる重大な岐路にたたされている。こうした危機的な状況を打破するためにも、若い世代が安心して結婚、子育てできる環境整備が不可欠であり、子育てに係る負担を軽減するなど少子化対策を抜本的に強化する必要がある。

国においては、すべての子どもを対象とする国による医療費助成が制度化されるまでの間、地方自治体が行う子どもの医療費助成に係る国民健康保険の国庫負担減額措置を廃止するよう強く要望するものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成28年9月21日

岩手県奥州市議会

提出先：衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣